

特集①

知っておきたい

社会保障・税一体改革

4月から、いよいよ消費税が8%に引き上げられます。

「社会保障・税一体改革」の一環として「21世紀（2025年）日本モデル」をめざし、その増収分をすべて社会保障の充実・安定化に向けるというものです。

「子育て」や「貧困・格差対策」等、幅広い改革がめざされるなか、

本特集では、とくに「医療・介護サービス保障の強化」に焦点を当てました。その方向性としては、

「地域包括ケアシステムの構築」へ向けた

「入院医療の機能分化・強化」「在宅医療の充実」が挙げられています。

では、それらを達成すべく、国では具体的にどのようなことが議論され、改革はどこまで進んでいるのでしょうか。

在宅医療・介護を担う専門職として

「社会保障・税一体改革」について知っておくべき点を解説し、今後どのような心がまえが求められるのかを考えます。

